

レジメン一覧の解説

レジメン共通の確認事項や
前投薬が記載されています

レジメンの位置づけや
継続期間などの記載を
しています。

【共通確認事項】

ダラキューロ、イサツキシマブ、：レスタミン（内
リツキシマブ 前投薬：レスタミン

催吐リスク分類：HECレジメンに関してはNK-1受容体拮抗薬 アプレキント、5-HT 3拮抗薬、デキサメタゾンを使用+場合によってオランザピン

胃がん

レジメンコード	レジメン名称	薬剤名	1日投与量	投与時間	投与日	1コース期間	催吐リスク分類	備考：
161001	胃-5FU 4w	5-FU：フルオロウラシル	800mg/㎡	24時間	Day1-5（連日）	4週間毎	LEC	進行・再発：PDまで 内服不能症例
161002	胃-5FU+CDDP 4w	5-FU：フルオロウラシル CDDP：シスプラチン	800mg/㎡ 20mg/㎡	24時間 2時間	Day1-5（連日） Day1-5（連日）	4週間毎	HEC	進行・再発：PDまで 内服不能症例
162003	胃-5FU+I-LV 8w6	5-FU：フルオロウラシル I-LV：イリノテカン	500mg/㎡ 250mg/㎡	5分（急速静注） 2時間	Day1,8,15,22,29,36 Day1,8,15,22,29,36	8週間毎	LEC	進行・再発：PDまで 内服不能症例
161004	胃-Cape+CDDP 3w2	Cape：カペシタビン CDDP：シスプラチン	2000mg/㎡/Day 80mg/㎡	内服 1日2回 2時間	Day1-14（連日）休薬7日間 Day1	3週間毎	HEC	進行・再発：PDまで HER2陽性症例
161005	胃-Cape+CDDP+Tmab 3w2	Cape：カペシタビン CDDP：シスプラチン Tmab：トラスツズマブ	2000mg/㎡/Day 80mg/㎡ 8mg/kg→6mg/kg	内服 1日2回 1時間 1時間30分→30分	Day1-14（連日）休薬7日間 Day1 Day1	3週間毎	HEC	進行・再発 CDDPは6コース 程度で適宜終了
162006	胃-イリノテカン 2w	CPT-11：イリノテカン	150mg/㎡	1時間30分	Day1	2週間毎	MEC	進行・再発：PDまで

レジメンコードはお薬手帳用シールに印字されているものと共通です

Day1-14(連日)は14日間服用する意味です

例) 161004	胃-Cape+CDDP 3w2	Cape：カペシタビン CDDP：シスプラチン	2000mg/㎡/Day 80mg/㎡	内服 1日2回 2時間
Day1-14（連日）	3週間毎	HEC	進行・再発：PDまで	
Day1				

催吐リスク分類

高度リスク：high emetic risk chemotherapy（HEC）

90%を超える患者に吐き気が発現する

中等度リスク：moderate emetic risk chemotherapy（MEC）

30～90%の患者に吐き気が発現する

軽度リスク：low emetic risk chemotherapy（LEC）

10～30%の患者に吐き気が発現する

レジメン名称：がん腫 - 薬剤名（カタカナ表記/略語）__インターバル（●w▲）複数薬剤の治療については、各々の薬剤の略字を使用し、“+”で区切り表記する。インターバル表記について“●w”⇒●週間ごとに投与 “●w▲”⇒（注射剤の場合）●週間を1インターバルとし、その間に▲回投与（経口剤併用の場合）表記は経口剤を優先とする。●週間を1インターバルとし、その間に▲週間内服

例)のレジメンの場合、進行再発胃がん患者が対象 Day1から14日間カペシタビンを内服（2000mg/㎡）し、Day1にシスプラチンを2時間で点滴することを示しています。原則3週間毎に繰り返し、PD（病状進行まで）継続します。（入院・外来でレジメンコードにアルファベットが付くことがあります。）

【問合せ先】昭和大学病院薬剤部 化学療法担当 TELL：03-3784-8467（平日9時～16時）